

研究開発・知的財産

研究開発

住友化学は長年にわたって幅広い分野でさまざまな技術を磨くことにより、「触媒設計」「精密加工」「有機・高分子材料機能設計」「無機材料機能設計」「デバイス設計」「生体メカニズム解析」という6つのコア技術を確立しました。当社はこれらコア技術の組み合わせや、オープンイノベーションによる社外技術との融合により、革新的な技術や製品を生み出し、価値を創造する「創造的ハイブリッド・ケミストリー」を研究開発の基本戦略としています。

当社は、今後の中長期的な経済および事業環境の予測に基づき、「環境・エネルギー」「ICT」「ライフサイエンス」の3分野を、高成長が期待でき当社の強みが活かせる領域と決めました。また、これら3分野のうち、2分野以上にまたがる境界領域は、総合化学メーカーの強みを一層発揮できる分野と考えています。このため、この3分野および境界領域に経営資源を重点配分しています。

今後も化学の持つ創造的な力を最大限に活かし、次世代事業の開発に取り組んでいきます。

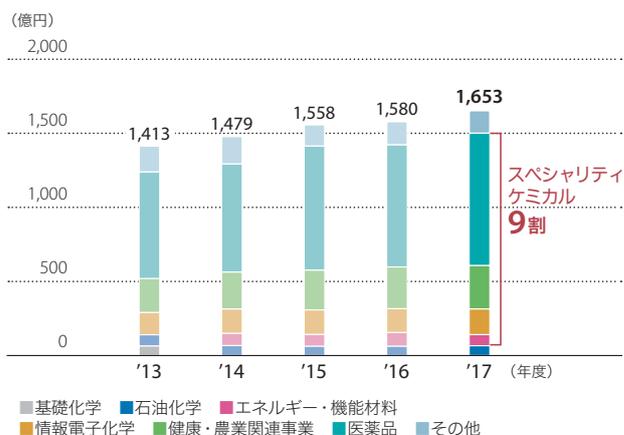
知的財産

住友化学の知的財産活動は、事業部門、研究所および知的財産部が一体となり、当社グループの事業価値の創造・維持・拡大に貢献することを目指しています。

概念検索やテキストマイニングなどのAI技術も活用し、知的財産調査・解析を行い、知的財産部ならびに研究開発部門の業務の効率化を図っています。

第三者の有効な特許についてはこれを尊重する一方、研究・技術開発により生み出された成果については、日本のみならず、アジア、欧州、北米、中東・アフリカ地域などの海外でも「広く、早く、強く、長く持続する特許」を取得して保護・権利化、特許網を構築し、事業活動を戦略的に進めるよう努めています。また、そうして得られた権利を、自社およびグループ会社で実施、第三者へのライセンスなど有効に利用することにより、事業価値の最大化を図っています。

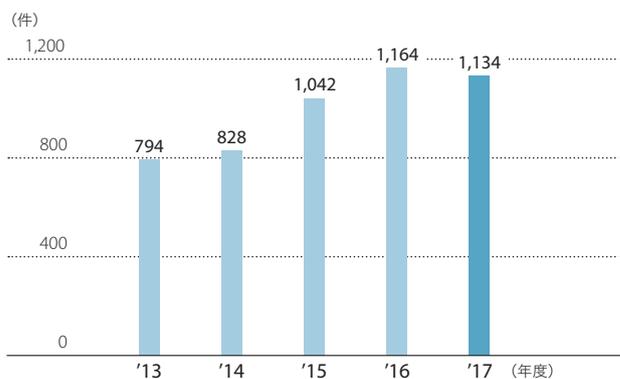
研究開発費



研究開発の概要

	(年度)		
	2015	2016	2017
研究開発人員(人)	3,831	4,010	4,034
従業員に占める研究開発人員	12%	12%	13%
売上高研究開発費率	7%	8%	8%

国内特許の出願件数



部門別保有特許件数(2018年4月現在)

